

広域連携の促進と防災力強化のための道路整備
について

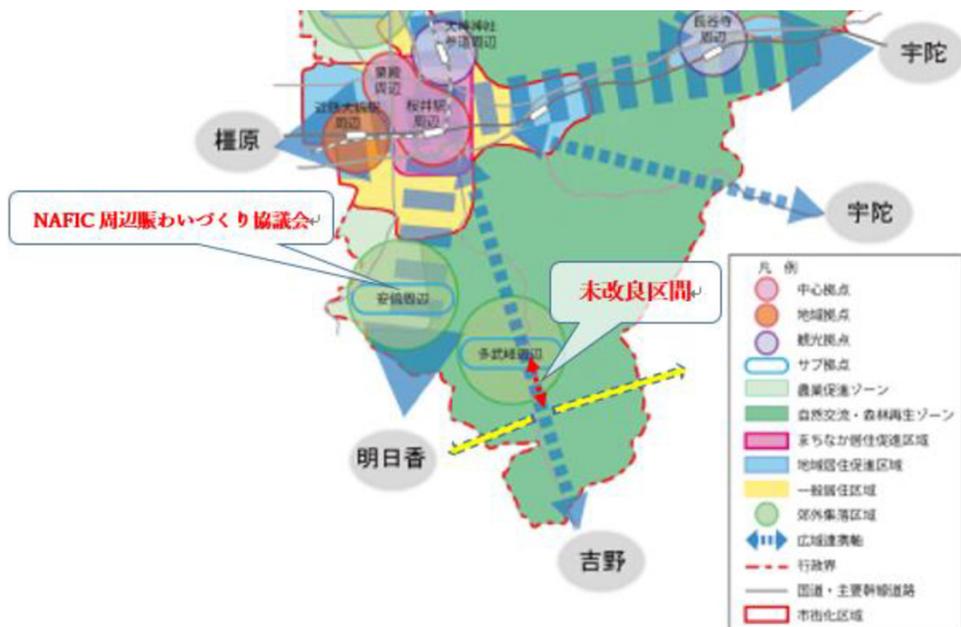
【担当省庁】国土交通省

市町村における取組

(現状・課題)

主要地方道桜井吉野線は、吉野地域をはじめ明日香・宇陀地域を結ぶ広域連携軸として、また災害時の緊急輸送道路として平成17年度より改良事業が実施されている重要な路線である。

桜井市では、周辺市町村との広域連携により、観光や産業・農業の振興等を図る好機と捉え関連施策を展開中であり、都市機能の維持・充実が期待される事業である。



同路線が含まれる桜井市南部エリアは、観光業・農業分野において、中心市街地と吉野・明日香・宇陀地域を接続する歴史と自然豊かなエリアとなっている。しかしながら、高齢化等により農業の担い手不足が懸念されるエリアでもある。

このため、農業に食の視点も加えた地域の賑わいづくり創出のため、平成28年度開校の奈良県立なら食と農の魅力創造国際大学校（通称NAFIC）を核とし、農業と市内商業者のマッチングを目的とした「NAFIC周辺賑わいづくり協議会」を平成30年度に立ち上げるなど、農業の魅力と商業の活性化のための取組を進めている。

さらに、平成31年度より国の農山漁村振興交付金（農泊推進対策）を活用した農村体験等による賑わいづくりや周辺市町村を含む活性化の取組を継続して行っている。

国にお願いすること

主要地方道桜井吉野線の整備は、広域連携の促進や防災力強化に不可欠なものであり、県中部地域だけでなく県南部地域の観光や産業・農林業の振興等様々な施策展開に大きく寄与するものであることから、何卒、令和6年度奈良県全体の「防災・安全交付金」の総額確保に関しまして、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます